

廃液を水の入った廃液タンクに入れたところ、 塩素ガス中毒及び化学性結膜炎となり入院



【発生場所】

香料の研究工程の廃液タンク

【被災原因】

香料の研究工程において、被災者が試薬として使用した塩化ホスホリルの廃液を、防火のために水を入れた廃液タンクに入れたところ、タンク内の水と反応し、塩素ガスが発生、ばく露した。

【被災状況】

被災者は救急車で病院に搬送され、診断の結果、「塩素ガス中毒及び化学性結膜炎の症状」と診断され、入院した。

【対策】からの抜粋

[4] 廃液タンクの処置を従来の方法と変更した場合は安全衛生教育を含めたリスクアセスメントを実施、危険、有害性を労働者の共通認識とし、災害防止を行うこと。



～理研計器からのご提案～

リスクアセスメント実施の結果、ガスの発生が予見される環境や作業がある場合は、リスク低減措置に加え、ガス検知警報器で安全確認をしながら作業されることを、お勧めいたします。